

1. 新型コロナウイルスによる入国規制下での中国ビザの現状
2. 目下の中国ビザ取得までの流れと必要書類
3. 中国ビザ取得に関する現在の注意点
4. 中国入国後の流れ(上海入国の場合)
5. 入国後のPCR 検査と14 日間の隔離先について
6. 隔離後の中国国内の移動について
7. フライト情報
8. トラブル事例

# 1. 新型コロナウイルスによる入国規制下での中国ビザの現状

1) 2020年3月26日 外交部公告 (3月28日0時から施行)

- ◆ 現在所有の査証および居留許可を有する入国の一時停止
- ◆ APECビジネス・トラベル・カードを有する入国の一時停止
- ◆ アライバルビザ発給の一時停止
- ◆ 24／72／144時間の各トランジット査証免除の一時停止
- ◆ 海南査証免除の一時停止
- ◆ 上海クルーズ船査証免除の一時停止
- ◆ 香港・マカオ地域の外国人団体の広東入境の144時間査証免除の一時停止
- ◆ ASEAN地域旅行団体の広西入境査証免除政策の一時停止

# 1. 新型コロナウイルスによる入国規制下での中国ビザの現状

## 2) 2020年3月30日 外交部通達 (3月31日12時から施行)

- ◆ 無査証滞在時目的の「商用、親族訪問目的の一時停止」
- ◆ 全てに於いて「別途新規で査証申請・取得の必要性あり」
- ◆ 現在の査証取得可能な条件
  - (1) 経済貿易・科学技術活動等に従事し「必要であるとされる場合」
  - (2) 人道的に「必要である場合」
    - ※ この判断は中国の在外公館(中国大使館・総領事館等)と現地当局(省人民政府外事弁公室・省商務庁)が行っている。
- ◆ 渡航が必要と認められた場合、「所定の必要書類を提出・査証発給を受ける」

# 1. 新型コロナウイルスによる入国規制下での中国ビザの現状

## (経過)

- ◆ 中国側も入国制限開始直後は具体的な「査証発給要領が未確定」
- ◆ 日本側も緊急事態宣言発出で「海外渡航の是非を検討」  
⇒「日中双方とも手探り状態」での現地当局や在外公館との調整
- ◆ 世界的に蔓延が進むにつれ「入国制限の拡大・長期化」
- ◆ 中国国内では春節により外国人駐在者の一時帰国と「駐在者不在の期間が長引く」
- ◆ その中で、外国人責任者不在のもと徐々に操業を開始するが「多くの問題を抱える」
- ◆ 「品質、生産管理、材料調達」など現地事情を考慮し「省単位で査証発給の許可判断」となる

## (結果)

- 招聘元(訪問先)企業を通じ、所在の(1) 省人民政府外事弁公室や省商務庁へ技術者等の(2) 「招聘理由等明記の必要書類」を整え、(3) 渡航許可(招聘状発行)の申請をする事が、確実に査証申請をする上で、(4) 結果的に最適最短の手続きとなっている。
- (1) 当現地当局の渡航許可(招聘状)取得に際しての現地側での必要な書類等は、(2) 「別表1」の通り。尚、具体的な申請先については各地域により異なるので、別途確認が必要。

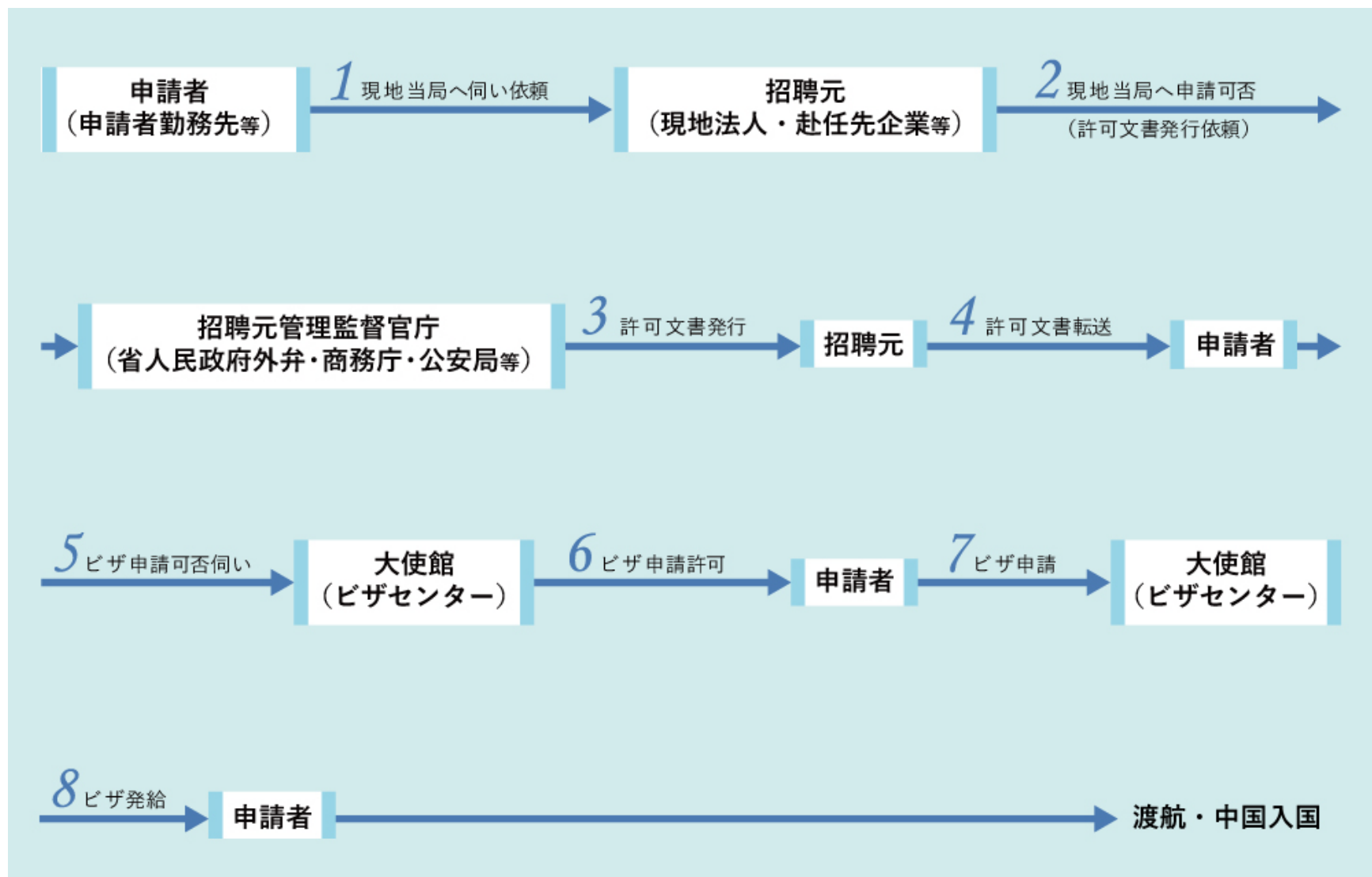
## 2. 目下の中国ビザ取得までの流れと必要書類

### 1) 現地当局の渡航許可(招聘状)取得に際しての必要書類

邀邀请函（招聘状）発給のための必要書類の一例				
No.	提出書類（中国語）	提出書類（和訳）	記載内容（中国語）	記載内容（和訳） / 諸注意
①	邀请外国人来华申请表	外国人訪中申請書	与受邀单位业务往来情况	招待される企業との商取引状況
			具体访问事由	具体的な訪問理由
			护照扫描件	パスポートのデータページをスキャンしたもの
			拟入境日期	入国予定日
			停留天数	滞在日数
			在华期间日程安排	中国滞在中の日程（予定）表
			签证地点	ビザ申請手続き予定地
②	邀请函	招聘状	邀请目的	招聘目的
			来访内容	来訪内容
			日期	日程
			来访人员基本信息	来訪者の基本情報
③	营业执照复印件盖章	営業許可証コピー（要社印押印）		営業許可証をコピーしたものの余白に社印を押印
④	企业情况简介盖章业	企業状況説明書（要社印押印）		企業状況書の余白に社印を押印
⑤	工商登记证明复印件	工商登録証明書のコピー		日本側企業のもの場合は「履歴事項全部証明書」（翻訳が必要な場合もあり）
⑥	与受邀人存在业务关系的证明材料	招聘される人とのビジネス関係の証明書類		取引関係の説明、補足資料
⑦	受邀人护照复印件	招聘人パスポートコピー		顔写真ページ、ビザページ、中国渡航履歴のわかるページ等
⑧	受邀人的工作证明	招聘される方の在籍証明		在籍証明書
⑨	专办员身份证复印件盖章	申請担当者の身分証明書コピー（要社印押印）		担当者の身分証明書の両面のコピーの余白に社印を押印
⑩	邀请人员名单	招聘者リスト		記載内容は氏名、生年月日、パスポート番号等

## 2. 目下の中国ビザ取得までの流れと必要書類

### 2) 中国渡航までの申請手続き・流れ (イメージ図)



## 2. 目下の中国ビザ取得までの流れと必要書類

### 3) 渡航許可(招聘状)入手後の商用目的の場合の主な必要書類は以下の通り

- ① パスポート
- ② 証明写真
- ③ 査証申請書
- ④ 招聘状(邀清函(PU))
- ⑤ 健康承諾書
- ⑥ 招聘理由書
- ⑦ その他必要な書類(誓約書 等)

#### (注意事項)

大使館や領事館が許可を出したのものについては、「④以降の書類」について必要書類が「個別の案件ごとに変る」ので、「都度確認」を要す。

### 3. 中国ビザ取得に関する現在の注意点

#### 1) 現状の中国ビザ取得に関する留意点

- ◆ 査証「発給権限はあくまでも大使館・領事館」にある
- ◆ 現地当局発行の渡航許可(招聘状)入手でも「査証が発給されないケース」がある
  - (1) 不要不急との判断
  - (2) 中でも帯同家族分が一番多いケース
    - (現地側での諸手続きの家族分についても招聘状の発給を受け、査証申請はできたが保留)
  - (3) 申請書類一式内に「矛盾が生じるケース」は同様に保留等
- ◆ 査証発給の許可と「申請速度の取り扱い(許可)」については別扱い
  - (通常期での設定のある「特急申請や緊急申請の可否」については「都度判断」)
- ◆ 申請先の在外公館によって判断が異なるケースもある
- ◆ 渡航日程に影響がでるような事も散見されるので「日程についても併せて注意」が必要
- ◆ 原則日本へ「帰国後14日間以内の申請は認められていない」
- ◆ 中国に限らず海外から帰国直後の自宅等での「自主隔離期間中の査証申請は不可」



### 3. 中国ビザ取得に関する現在の注意点

#### 2) ビザ申請取扱日

◆日本にある各中国大使館・領事館も原則休館しているがビザ申請対応のため、「週1日～2日程度開館」している。

◆例としてビザセンターのある東京・名古屋・大阪は以下要領。他領事館は不定期開館。

#### ビザセンター開館日

東京中国ビザセンター 月曜日／水曜日（10:00－14:00）

名古屋中国ビザセンター 火曜日／金曜日（10:00－14:00）

大阪中国ビザセンター 火曜日／木曜日（10:00－14:00）

## 4. 中国入国後の流れ(上海入国の場合)

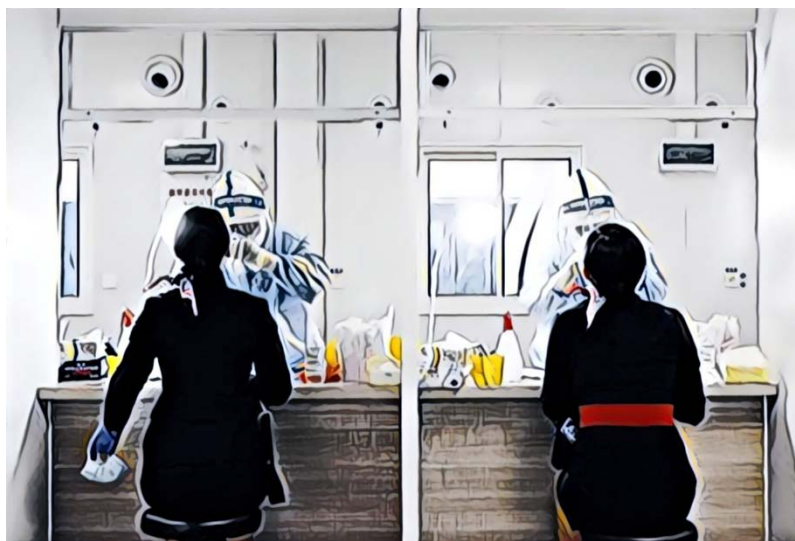
### 1) 中国入国時の対応

- ◆ 機内で配布される【健康カードの記入】
- ◆ 搭乗機着陸後、機内により【検疫官の赤外線体温チェックと健康カードの確認】
- ◆ 検疫官の許可後降機、【バスにて専用の入国手続きエリアへ移動し入国審査】
- ◆ 入国審査後【PCR検査】 PCR検査の結果確認待機中に訪問先の確認
- ◆ 検査結果が出るまで当局指定の待機場所にて【結果がでるまで待機】
- ◆ 結果が「陰性」であった場合は上海市手配の車で【当局手配のホテル等へ移動】
- ◆ ホテル到着後【14日間の隔離観察】  
(上海市内に自宅がある場合でも原則当局手配のホテルへ移動)

## 4. 中国入国後の流れ(上海入国の場合)

### 2) 浦東空港PCR検査場

5月21日、検体採取窓口を44設け、総面積360平方メートルの開放式、PCR検査検体採取キャビンが、今後旅客数が回復した時の準備も兼ね、上海浦東空港のターミナル1・2で正式に稼動を開始した。



## 5. 入国後のPCR検査と14日間の隔離先について

- ◆ 宿泊先は上海市指定の郊外のホテル「申請者の手配ではない」
- ◆ ホテルでは、レストラン等の「スタッフはいない」場合もある  
(シーツやタオル等のリネン交換については最悪ないか数日に一回。アメニティグッズがない。  
ランドリーサービス停止等)
- ◆ 食事が「外部委託のお弁当」となっている場合もある
- ◆ 宿泊代(@300~400元程度)、食事代、一部検査費用は「自己負担」が求められる
- ◆ 宿泊期間中にも再度の「PCR検査と抗体検査」がある
- ◆ 外貨両替やクレジットカードでの精算ができない場合も  
(事前に一定金額の人民元、現金を用意しておいた方望ましい)